

with smile

小学校スキー学習支援ボランティア95名の皆さま、
来月からよろしくお願ひします！号

「スマイルアスリート」
バドミントン

佐々木翔さん

特集
eスポーツの可能性



スマイルアスリート

ささき しょう
バドミントン 佐々木 翔さん

最近の活動について

秋田県にある北都銀行バドミントン部で監督をしている佐々木です。北海道北斗市出身で競技を小学1年生から始めました。高校から北海道を離れ、30歳の時にロンドン五輪、34歳の時にリオ五輪に出場しました。

リオ五輪後に競技を引退、その後選手時代に4年間お世話になった会社でもある北都銀行に入行し、指導者として引き続き競技に関わっています

現在、北都銀行バドミントン部は選手9名、スタッフ4名で構成されています。3名の選手が日本代表に在籍しており、北海道出身のナガマツペアの愛称で呼ばれている永原 和可那選手、松本 麻佑選手も北都銀行バドミントン部の選手です。

びっくりエピソード

普段のバドミントン競技の国際大会とは違い、オリンピック、アジア大会では全競技のアスリート、スタッフが選手村を拠点とします。

選手村では各マンションに国ごとで分かれ居住します。巨大なレストランでは各国の方が24時間いつでも食べられるシステムです。食事はbuffetスタイルですが、競技や国の文化の違いで食べる量や盛り付けも人や国によって様々なんだなと感じました。

また、娯楽施設もありゲームセンターや理髪店、コンサート会場で有名人がライブをしたりと、競技以外で息抜きできる場所もありました。

アスリートからの
挑戦状

バドミントン競技の男子選手が打つスマッシュは、時速何キロ出ているのでしょうか？

ボランティアへの思い

東京五輪はコロナ禍のなか開催の有無を始め、延期もあった中で、通例の流れで準備を行えず、スポーツボランティアの方々には大変な気苦労があったことと思われます。

大会が始まると、国内外問わず選手やメディアの方からもスポーツボランティアの方へお礼や称賛の声が多く聞こえました。コロナ禍での開催のなか、スポーツボランティアの方々の温かいサポートが選手、スタッフの身に染みたのではないかと感じています。

大会のサポート、本当にありがとうございました。おつかれさまでした。

毎日続けていること

私は競技を引退し、指導者の立場ですが一緒にコートに入り、シャトルを打ちあうこともあります。また、体を動かしていないと可動域が狭まり、体のコリやハリにすぐ繋がってしまう体質なので、朝と晩に決まったストレッチを行うようにしています。

ストレッチを補助するような手軽な器具を使用するとより伸ばしたい箇所にアプローチできます。主に肩甲骨周りや股関節の柔軟性を保つように意識して行っています。



新しいスポーツとして注目されている「eスポーツ」。近年、韓国や中国、アメリカなどで市場が拡大しています。日本国内においても若年層を中心にeスポーツが盛り上がりを見せており、2020年にはeスポーツの世界大会のひとつである「Evolution Championship Series (EVO)」の日本大会が幕張メッセ（千葉県）で開催されました。また、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスでは2018年度と2019年度に「e-Sports論」が開講されたほか、今月末には「第4回全国高校eスポーツ選手権決勝大会」が行われる予定です。このeスポーツ人気の背景には一体何があるのでしょうか。

eスポーツ人気の背景？

eスポーツがここまで人気を博しているのは、インターネットの普及により世界中がつながったことに加え、eスポーツが従来のスポーツと同様に娯楽性・競技性をもっていることに関係があります。しかし、eスポーツの魅力を考える上で今回注目したいのが、全盲のeスポーツ選手の存在。

視覚障がいのある人にとって、日常生活をする上で「音」は重要な要素。視覚障害をもつ選手たちがプレイする「ゴールボール」も、ボールを転がした時に鳴る鈴の音や、仲間や相手チームの足音を頼りにシュートを狙う競技です。

では視覚障害のある人が、画面に表示されるキャラクターをどのように操作し、eスポーツに参加しているのでしょうか。



eスポーツの可能性について



eスポーツで社会参加

その答えは「音」。コンピュータゲームといえど視覚的に派手な演出が目立ちますが、加えて様々な効果音を使用されています。例えば、歩く音、壁にぶつかる音、投球する音、攻撃する音、ジャンプする音など、ゲームプレイ中のほぼ全ての動きに特徴的な音が付けられており、その音声を取捨選択することで状況判断が可能となります。とはいえ、画面上に表示される物理的な距離感覚は掴めないため、必要に応じてサポーターが声で教えます。

視覚障がいに限らず、ハンディキャップのある人が障がいのない人と同じ土俵で競い合い、楽しみながら達成感を味わえるeスポーツ。若年層の流行としてだけでなく、障がいのある人が社会とつながる機会として、今後さらに進展していくと思われます。

外でスキーやランニングも良いですが、自宅にいる時間が増えるこの季節、eスポーツを体験・観戦してみるのはいかがでしょうか。

3 事務局よりお知らせ

「スポーツ文化ツーリズムアワード 2021」受賞！

昨年度さっぽろグローバルスポーツコミッションが主催した「ナイトクロカン in ホワイトイルミネーション」が、スポーツ庁・文化庁・観光庁主催の「スポーツ文化ツーリズムアワード 2021」スポーツツーリズムを受賞し、【第5回スポーツ文化ツーリズムシンポジウム】での表彰式に出席しました。



今年度も札幌市の冬期間の夜の観光コンテンツ化を目指し実施いたします。イルミネーション演出の増強や、アイスリンクの設置、来場される皆さまに楽しんで頂けるようバージョンアップしてお待ちしております！

◀ 室伏広治 スポーツ庁長官 (写真左) と SGSC 今野事務局長 (写真右)

スキー学習支援@スキー場 ボランティア募集

山の手小学校の3・4年生、および支援学級に通う児童のスキー学習を支援しませんか。スキー滑走技術は不要、教員の指示に従って児童の励ましや見守り、スキー板の着脱補助を行っていただきます。ご協力いただける方は、スマイル・サポーターズ事務局までお電話または別途スマサポメールにてお送りする Google フォームからお申込みください。

※以前募集した小学校スキー学習支援とは異なる事業です。

- 活動日時 ① 2022年2月16日(水)
② 2022年2月22日(火)
いずれも 9:30～15:00
- 活動場所 ティネオリンピア
- 活動内容 スキーが苦手なリフトに乗れない子への支援(スキー用具の着脱や転倒補助、休憩時の見守り、安全確認などを含みます)
- 活動条件 スキー場へは現地集合・解散
- 支給品 ① 1,000円分のQUOカード
② リフト券(本事業終了時に利用可能なもの)
③ ボランティア保険加入(他事業での加入者は不要)
- 応募締切 2022年1月4日(火)

シットスキー支援ボランティア募集

市内小学校で行われる下肢に障がいのある児童のスキー学習参加を支援するため、シットスキー(下肢障がい者用のクロスカントリースキー)への支援を行います。本事業にご協力いただける方、実施学校や活動条件などの詳細についてのお問い合わせは、締切間近のためスマイル・サポーターズ事務局までお電話ください。

※以前募集した小学校スキー学習支援とは異なる事業です。

- 活動日時 2022年1月下旬～2月下旬
- 活動内容 シットスキーに乗り込んだ児童の滑走補助(手押しのみ補助を行い、移乗時や転倒時等に児童の体に触れることはしない)
- 活動条件 2022年1月11日(火)または12日(水)の研修(1時間程度)に参加できる方
- 応募締切 2021年12月24日(金)



spovol@sgsc.jp
Fax 011-200-0314

さっぽろグローバルスポーツコミッション
011-200-0905

アスリートからの挑戦状の答え：ギネスに登録されているのは493キロです。球技での最高速度はバドミントンが一番速いです。これは初速になり、相手が打つまでには遅くなっていきます。国際大会では男子が400キロ、女子が300キロを超えるスマッシュが多くみられます。